診断テスト［A］

中1／つまずきを 見つける 20問／目標 20分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・次の20問を解いて、答えを □ に書く。計算は別の紙でする。わからなければとばす。
・答えは 数だけ 書く（単位・%は 書かない）。小数は 0.7 のように 書き、分数は 使わない。
・ア・イ・ウ から 選ぶ 問題は、正しい 記号を ○ でかこむ。階級は 10〜15 なら 10以上15未満 と 読む。

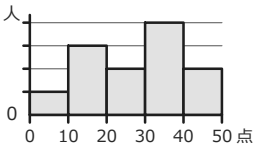
① **10人の 点数 42、50、55、50、63、48、57、60、50、70**
50以上60未満は 何人？

② **20人の ソフトボール投げ。**
度数が 最大の 階級は？
ア 9　イ 20〜25　ウ 25〜30

階級(m)	度数
10〜15	2
15〜20	4
20〜25	9
25〜30	3
30〜35	2

③ **度数折れ線で 140以上145未満の 階級の 点は 横軸の いくつに 打つ？**

④ **たての 1目盛りは 2人。**
30以上40未満は 何人？



⑤ **25人の クラスで ある 階級の 度数は 10人。**
この 階級の 相対度数は？

⑥ **50m走で 8秒未満の 人。1組は 30人中 6人、2組は 40人中 7人。**
割合が 大きい のは？
ア 1組　イ 2組　ウ 同じ

⑦ **ある 階級の 相対度数は 0.25。**
百分率に すると 何%？

⑧ **12人の 身長。150〜155の 階級の 累積度数は？**

階級(cm)	度数
140〜145	1
145〜150	3
150〜155	5
155〜160	2
160〜165	1

⑨ **25人の 通学時間(分)。**
20分未満は 何人？

階級(分)	度数
0〜10	3
10〜20	5
20〜30	8
30〜40	6
40〜50	3

⑩ **20人が 読んだ 本(冊)。**
15冊以上は 何人？

階級(冊)	度数
0〜5	4
5〜10	7
10〜15	5
15〜20	3
20〜25	1

⑪ **9人の 点数 9、3、10、5、7、12、4、6、2**
中央値は？

⑫ **5人の 点数 35、62、48、90、55**
範囲は？

⑬ **勉強時間(分) 0、30、45、60、40**
5日間の 平均は？

⑭ **20人の 点数の 表。**
階級値を 使った 平均値は 何点？

階級(点)	度数
0〜10	3
10〜20	5
20〜30	6
30〜40	4
40〜50	2

⑮ **20人の 点数の 表。**
最頻値は？

階級(点)	度数
0〜10	6
10〜20	7
20〜30	4
30〜40	2
40〜50	1

⑯ **20人の ゲーム時間(分)。**
中央値が 入る 階級は？
ア 0〜20　イ 20〜40
ウ 40〜60

階級(分)	度数
0〜20	8
20〜40	5
40〜60	4
60〜80	2
80〜100	1

⑰ **7人が 読んだ 本(冊) 3、4、4、5、5、6、40**
ふつうの 冊数を 言うのに ふさわしい 値は？
ア 中央値 5冊　イ 平均値 約9.6冊

⑱ **A班 1、2、3、4、20点。**
B班 5、6、6、7、8点。
中央値で くらべると 点が 高い 班は？
ア B班　イ A班

⑲ **キャップを 投げて 表が 出る 確率を 見積もる。**
10回で 6回、1000回で 430回 表。
参考に ふさわしい 値は？
ア 0.6　イ 0.43

⑳ **キャップを 1000回 投げた。**
表 200回、裏 800回。
表が 出る 相対度数は？

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「データの活用」のプリント一覧がひらきます

診断テスト［B］

中1／直ったか 確かめる 20問／目標 20分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・［A］の ×の 小単元を 練習した あと、別の 20問で 確かめる。答えを □ に書く。計算は 別紙で。
・答えは 数だけ 書く（単位・%は 書かない）。小数は 0.7 のように 書き、分数は 使わない。
・ア・イ・ウ から 選ぶ 問題は、正しい 記号を ○ でかこむ。階級は 10〜15 なら 10以上15未満 と 読む。

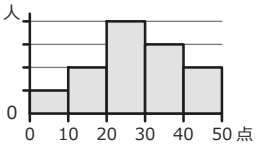
① **10人の 点数 28、30、33、30、36、39、30、40、44、31**
30以上40未満は 何人？

② **20人の 握力。**
度数が 最大の 階級は？
ア 25〜30　イ 7　ウ 30〜35

階級(kg)	度数
15〜20	1
20〜25	3
25〜30	7
30〜35	5
35〜40	4

③ **度数折れ線で 60以上70未満の 階級の 点は 横軸の いくつに 打つ？**

④ **たての 1目盛りは 5人。**
20以上30未満は 何人？



⑤ **40人の 学年で ある 階級の 度数は 10人。**
この 階級の 相対度数は？

⑥ **漢字テストで 満点の 人。1組は 50人中 14人、2組は 40人中 12人。割合が 大きい のは？**
ア 1組　イ 2組　ウ 同じ

⑦ **ある 階級の 相対度数は 0.6。**
百分率に すると 何%？

⑧ **20人の 体重の 表。**
45〜50の 階級の 累積度数は？

階級(kg)	度数
35〜40	2
40〜45	5
45〜50	7
50〜55	4
55〜60	2

⑨ **20人の 点数。**
30点未満は 何人？

階級(点)	度数
0〜10	2
10〜20	4
20〜30	6
30〜40	5
40〜50	3

⑩ **20人の 読書時間。**
10分以上は 何人？

階級(分)	度数
0〜5	3
5〜10	6
10〜15	6
15〜20	3
20〜25	2

⑪ **9人の 得点 13、4、16、7、18、10、5、9、12**
中央値は？

⑫ **5人の 得点 18、47、33、62、25**
範囲は？

⑬ **5日間の 運動(分) 0、20、50、30、40**
平均は？

⑭ **20人の 国語の 点数。**
階級値を 使った 平均値は 何点？

階級(点)	度数
0〜10	4
10〜20	6
20〜30	4
30〜40	4
40〜50	2

⑮ **20人の 通学時間の 表。**
最頻値は？

階級(分)	度数
0〜20	3
20〜40	4
40〜60	9
60〜80	3
80〜100	1

⑯ **20人の 点数。**
中央値が 入る 階級は？
ア 10〜20　イ 20〜30
ウ 30〜40

階級(点)	度数
0〜10	2
10〜20	3
20〜30	4
30〜40	7
40〜50	4

⑰ **7人の 通学時間(分) 4、5、5、6、7、8、45**
ふつうの 通学時間を 言うのに ふさわしい 値は？
ア 平均値 約11.4分　イ 中央値 6分

⑱ **A班 7、8、8、9、10点。**
B班 1、2、4、5、29点。
中央値で くらべると 点が 高い 班は？
ア B班　イ A班

⑲ **画びょうを 投げて 針が 上を 向く 確率を 見積もる。20回で 15回、2000回で 1180回。参考に ふさわしい 値は？**
ア 0.59　イ 0.75

⑳ **画びょうを 800回 投げた。**
上向き 300回、下向き 500回。
上向きの 相対度数は？

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「データの活用」のプリント一覧がひらきます

診断テスト［A］【こたえ】

中1／つまずきを 見つける 20問／目標 20分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

問	正答	×のときの誤答	つまずき	やるところ（記事の小単元）
①	5	3	以上・未満を ずらす	①度数分布表
②	イ 20〜25	ア 9	階級と度数を 取り違え	①度数分布表
③	142.5	140	点を 階級の端に 打つ	②ヒストグラム・度数折れ線
④	8	4	1目盛りを 1人と読む	②ヒストグラム・度数折れ線
⑤	0.4	2.5	総数÷度数に する	③相対度数
⑥	ア 1組	イ 2組	度数のまま 比べる	③相対度数
⑦	25	0.25	小数に %を つける	③相対度数
⑧	9	5	累積に しない	④累積度数・累積相対度数
⑨	8	16	未満の 行を ずらす	④累積度数・累積相対度数
⑩	4	16	以上に 累積を 使う	④累積度数・累積相対度数
⑪	6	7	並べずに 中央値	⑤代表値と範囲
⑫	55	90	範囲を 最大値に	⑤代表値と範囲
⑬	35	43.75	0を 個数から 外す	⑤代表値と範囲
⑭	23.5	18.5	階級値でなく 下端	⑥度数分布表からの代表値
⑮	15	7	最頻値を 度数で	⑥度数分布表からの代表値
⑯	イ 20〜40	ウ 40〜60	中央値の階級を 真ん中に	⑥度数分布表からの代表値
⑰	ア 中央値 5冊	イ 平均値 約9.6冊	外れ値で 平均を 使う	⑦データの比較・判断
⑱	ア B班	イ A班	最大値だけで 比べる	⑦データの比較・判断
⑲	イ 0.43	ア 0.6	少ない 回数で 決める	⑧相対度数と確率
⑳	0.2	0.25	分母を 総数に しない	⑧相対度数と確率

×が ついた 問を 小単元ごとに 数える。×が 多い 小単元から、同じ数なら 上の 行から やる

①度数分布表	①②	×（ ）／2	⑤代表値と範囲	⑪⑫⑬	×（ ）／3
②ヒストグラム・度数折れ線	③④	×（ ）／2	⑥度数分布表からの代表値	⑭⑮⑯	×（ ）／3
③相対度数	⑤⑥⑦	×（ ）／3	⑦データの比較・判断	⑰⑱	×（ ）／2
④累積度数・累積相対度数	⑧⑨⑩	×（ ）／3	⑧相対度数と確率	⑲⑳	×（ ）／2

①は 50 以上 60 未満。50、50、50、55、57 の 5人（50 を 除き 60 を 入れた 3人は ×）。
②は 「どの階級か」を 答える。度数 9 は 人数（9 は ×）。度数が 最大の 階級は 20〜25m。
③は 階級の 点は 階級の 真ん中（階級値）。(140＋145)÷2＝142.5（140 は 階級の 左はしで ×）。
④は 1目盛りが 2人。30〜40 の 柱は 4目盛りで 4×2＝8人（4 は 目盛りの 数で ×）。
⑤は 相対度数＝度数÷総数＝10÷25＝0.4（25÷10＝2.5 は わる 向きが ×）。
⑥は 度数では 2組の 7人が 多いが、総数が ちがう。6÷30＝0.20、7÷40＝0.175 で 1組が 大きい。
⑦は 相対度数 0.25 は 100倍して 25%（0.25% は ×）。
⑧は 150〜155 までの 度数を 上から たす。1＋3＋5＝9（その 階級だけの 5 は ×）。
⑨は 20分未満＝0〜10 と 10〜20 の 3＋5＝8人（20〜30 まで たした 16 は ×）。
⑩は 15冊以上＝15〜20 と 20〜25 の 3＋1＝4人（15冊未満の 16 を そのまま 書くのは ×）。
⑪は 小さい順に 2、3、4、5、6、7、9、10、12 と 並べて 5番目の 6（記録した 順の 5番目 7 は ×）。
⑫は 範囲＝最大値−最小値＝90−35＝55（最大値 90 は ×）。
⑬は 0 の 日も 1日と 数える。175÷5＝35（175÷4＝43.75 は ×）。
⑭は 表からは 階級値で 見積もる。階級値×度数の 合計÷総数＝470÷20＝23.5（左はしを 使うと 18.5 で ×）。
⑮は 度数が 最大の 階級 10〜20 の 階級値＝15（度数 7 は ×）。
⑯は 累積度数 8、13、17、19、20。10・11番目は 20〜40分（表の 真ん中の 40〜60 は ×）。
⑰は 40冊の 1人に 引っぱられ 平均は 約9.6冊。ふつうの 冊数は 中央値 5冊。
⑱は 中央値で くらべる。最大値は A班が 大きいが、中央値は A班3点、B班6点で B班が 高い。
⑲は 10回の 結果は ばらつく。回数が 多い 1000回の 0.43 を 確率の 見積もりに 使う（本当の 確率と ぴったり 同じとは 限らない）。
⑳は 相対度数＝表の 度数÷投げた 回数＝200÷1000＝0.2（200÷800＝0.25 は ×）。
丸つけ　答えは 数だけで ○（単位や %が あっても ○）。選ぶ 問題は ○を つけた 記号で 見る。
×が 0〜1個なら まとめテスト①へ。声かけ 「並べた？」「総数で わった？」「1目盛りは 何人？」「以上・未満は どちら？」

診断テスト［B］【こたえ】

中1／直ったか 確かめる 20問／目標 20分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

問	正答	×のときの誤答	つまずき	やるところ（記事の小単元）
①	7	5	以上・未満を ずらす	①度数分布表
②	ア 25〜30	イ 7	階級と度数を 取り違え	①度数分布表
③	65	60	点を 階級の端に 打つ	②ヒストグラム・度数折れ線
④	20	4	1目盛りを 1人と読む	②ヒストグラム・度数折れ線
⑤	0.25	4	総数÷度数に する	③相対度数
⑥	イ 2組	ア 1組	度数のまま 比べる	③相対度数
⑦	60	0.6	小数に %を つける	③相対度数
⑧	14	7	累積に しない	④累積度数・累積相対度数
⑨	12	17	未満の 行を ずらす	④累積度数・累積相対度数
⑩	11	9	以上に 累積を 使う	④累積度数・累積相対度数
⑪	10	18	並べずに 中央値	⑤代表値と範囲
⑫	44	62	範囲を 最大値に	⑤代表値と範囲
⑬	28	35	0を 個数から 外す	⑤代表値と範囲
⑭	22	17	階級値でなく 下端	⑥度数分布表からの代表値
⑮	50	9	最頻値を 度数で	⑥度数分布表からの代表値
⑯	ウ 30〜40	イ 20〜30	中央値の階級を 真ん中に	⑥度数分布表からの代表値
⑰	イ 中央値 6分	ア 平均値 約11.4分	外れ値で 平均を 使う	⑦データの比較・判断
⑱	イ A班	ア B班	最大値だけで 比べる	⑦データの比較・判断
⑲	ア 0.59	イ 0.75	少ない 回数で 決める	⑧相対度数と確率
⑳	0.375	0.6	分母を 総数に しない	⑧相対度数と確率

×が ついた 問を 小単元ごとに 数える。×が 多い 小単元から、同じ数なら 上の 行から やる

①度数分布表	①②	×（ ）／2	⑤代表値と範囲	⑪⑫⑬	×（ ）／3
②ヒストグラム・度数折れ線	③④	×（ ）／2	⑥度数分布表からの代表値	⑭⑮⑯	×（ ）／3
③相対度数	⑤⑥⑦	×（ ）／3	⑦データの比較・判断	⑰⑱	×（ ）／2
④累積度数・累積相対度数	⑧⑨⑩	×（ ）／3	⑧相対度数と確率	⑲⑳	×（ ）／2

①は 30 以上 40 未満。30、30、30、31、33、36、39 の 7人（30 を 除き 40 を 入れた 5人は ×）。
②は 「どの階級か」を 答える。度数 7 は 人数（7 は ×）。度数が 最大の 階級は 25〜30kg。
③は 階級の 点は 階級の 真ん中（階級値）。(60＋70)÷2＝65（60 は 階級の 左はしで ×）。
④は 1目盛りが 5人。20〜30 の 柱は 4目盛りで 4×5＝20人（4 は 目盛りの 数で ×）。
⑤は 相対度数＝度数÷総数＝10÷40＝0.25（40÷10＝4 は わる 向きが ×）。
⑥は 度数では 1組の 14人が 多いが、総数が ちがう。14÷50＝0.28、12÷40＝0.30 で 2組が 大きい。
⑦は 相対度数 0.6 は 100倍して 60%（0.6% は ×）。
⑧は 45〜50 までの 度数を 上から たす。2＋5＋7＝14（その 階級だけの 7 は ×）。
⑨は 30点未満＝0〜10・10〜20・20〜30 の 2＋4＋6＝12人（30〜40 まで たした 17 は ×）。
⑩は 10分以上＝10〜15・15〜20・20〜25 の 6＋3＋2＝11人（10分未満の 9 を そのまま 書くのは ×）。
⑪は 小さい順に 4、5、7、9、10、12、13、16、18 と 並べて 5番目の 10（記録した 順の 5番目 18 は ×）。
⑫は 範囲＝最大値−最小値＝62−18＝44（最大値 62 は ×）。
⑬は 0 の 日も 1日と 数える。140÷5＝28（140÷4＝35 は ×）。
⑭は 表からは 階級値で 見積もる。階級値×度数の 合計÷総数＝440÷20＝22（左はしを 使うと 17 で ×）。
⑮は 度数が 最大の 階級 40〜60 の 階級値＝50（度数 9 は ×）。
⑯は 累積度数 2、5、9、16、20。10・11番目は 30〜40点（表の 真ん中の 20〜30 は ×）。
⑰は 45分の 1人に 引っぱられ 平均は 約11.4分。ふつうの 通学時間は 中央値 6分。
⑱は 中央値で くらべる。最大値は B班が 大きいが、中央値は A班8点、B班4点で A班が 高い。
⑲は 20回の 結果は ばらつく。回数が 多い 2000回の 0.59 を 確率の 見積もりに 使う（本当の 確率と ぴったり 同じとは 限らない）。
⑳は 相対度数＝上向きの 度数÷投げた 回数＝300÷800＝0.375（300÷500＝0.6 は ×）。
丸つけ　答えは 数だけで ○（単位や %が あっても ○）。選ぶ 問題は ○を つけた 記号で 見る。
×が 0〜1個なら まとめテスト①へ。声かけ 「並べた？」「総数で わった？」「1目盛りは 何人？」「以上・未満は どちら？」